

JCA

Japan Communication Association (JCA) Newsletter 日本コミュニケーション学会ニュースレター

NEWS

116 2017.10

CONTENTS

1. 巻頭言 事務局長挨拶 1	8. 支部ニュース16
2. 第47回年次大会報告 2	支部ニュース：北海道支部16
3. 2016年度第3回理事会報告 3	支部ニュース：東北支部16
4. 第47回年次大会 総会報告 7	支部ニュース：中部支部17
5. 学術局報告 9	支部ニュース：関西支部18
2017年度学会賞報告 9	支部ニュース：中国・四国支部18
ジャーナル募集10	支部ニュース：九州支部18
6. 事務局報告13	9. JCA 2017年度 役員一覧19
7. 広報局便り14	10. メールアドレス登録のお知らせ19
		11. 編集後記20

巻頭言

新しい事務局になりました

事務局長 高永 茂 (広島大学)

どうも私のような立場の者が文章を書くとき文字通り事務的な話になってしまいますが、お許しください。6月に開催された総会で学会事務の委託先を変更することが承認されました。総会に参加なさっていない学会員の皆さまもいらっしゃると思いますので、この場を借りて少し経緯を説明したいと思います。昨年(2016年)から今年にかけて、学会活動に影響するいくつかのことが立て続けに起きました。まず、J-Stageへの移行です。バックナンバーを含め、JCAが発行する学会誌をJ-Stageへ掲載することになりました。この作業がなかなか面倒で、これまで印刷を依頼していた会社では対応してもらえないことがわかりました。つぎに、年次大会の事前受付を行ってもらっていたトップツアーズの担当者が退社することになり、その後の引き継ぎがうまくいかない事態となりました。さらに、会員の情報管理を委託していた機関において事務手続きの不備が判明しました(会員情報の漏洩などはありません。その点をご心配なく)。もろもろのことが次々に起きて抜本的な対策をとる必要に迫られました。理事会で議論を重ねた結果、これまで複数の業者に委託していた学会業務を、信頼のできる業者に一本化するという結論に至りました。

理事会の決定にしたがい、業者を選定する任を受けた理事2名が有力な候補として挙げた2社を訪れ、直接に交渉を行いました。その交渉結果を理事会に報告し、業務内容、委託料金、信頼性などの観点から精査した後、新年度から学会事務を委託している「国際文献社」に決まりました。

ここで、国際文献社について少し紹介をしたいと思います。当社は1951年に設立され、現在132団体の学会事務を担当しています。本社は東京都新宿区山吹町にあります。社員数は130名です。「学会事務支援部門」「学術雑誌刊行支援部門」「情報技術戦略部門」「電子ジャーナル部門」などのほか、自社内に「印刷・製本部門」「発送部門」も持っています。正式な契約は本年6月からですが、すでに第47回年次大会の「申し込みサイト」の設計でもお世話になりました。

国際文献社内にある新・事務局へ移行する時期(6月～7月)には、学会費の請求が遅れるなど会員の皆さまにはご迷惑をおかけしました。心よりお詫び申し上げます。今後はこれまで以上にスムーズな学会運営ができるよう力を尽くして参りたいと思います。

なお、新・事務局の連絡先は次のとおりです。JCAのHPにも掲載しておりますが、いま一度ご確認ください。できれば幸いです。

メールアドレス : jcom-post[@を入れる]bunken.co.jp
〒162-0801
東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
日本コミュニケーション学会事務局
FAX : 03-3368-2822

※ 事務局のメールアドレスについて説明を付け加えます。「-post@bunken.co.jp」の部分は国際文献社から指定されておりました。その前部にはふつう学会の略称を付加するのですが、「jca」がすでに他の学会で使用されていたので執行部と相談をして「jcom」といたしました。

第47回年次大会報告

大会実行委員長 小山 哲春（京都ノートルダム女子大学）

第47回年次大会が「コミュニケーションと未来」というテーマの下、2017年6月3日・4日に京都ノートルダム女子大学で開催されました。二日間を通じ、スタッフ、公開シンポジウムへの参加も含めて約100名の方々にご参加いただきました。無事に大会を終了できたのは、大会企画、運営に関わってくださった皆様、講師/発表の先生方、そして大会を盛り上げてくださった参加者全ての皆様のおかげです。深く感謝申し上げます。

1日目には学術講演会を一般公開して開催し、鈴木謙介先生に「ウェブ時代のコミュニケーション—<多孔化>した社会の中で—」

というタイトルでご講演いただきました。対面場面とメディア場面の境界の曖昧さや今後の可能性についての議論は、参加していた特に院生や学部生も大きな刺激をうけたようでした。その後、鈴木先生を交えてシンポジウムが開催され、守崎副会長の司会の下、野澤和典先生、松本健太郎先生に、それぞれマルチメディア教育論、記号論・メディア論の視点から議論に加わっていただき、「ウェブ時代のコミュニケーションの未来」というテーマでそれぞれの切り口から議論を展開していただきました。

この他、研究発表21件、パネルセッション4件、学術局セッション1件が行われました。今年の大会では通常より小さめの教室を全て同じ階に配置したため多少の心配をしておりましたが、各セッションの終了時刻を過ぎても教室内あるいはホールで意見交換が行われる様子があちこちに見られるなど、学術交流が大変活発に行われたと感じています。

学術局セッションとしては「コミュニケーション学の未来について語り合う—U40 研究者からの提言—」が開催され、若手研究者だけでなく熟年？研究者も交えてコミュニケーション学の行く末について熱く議論する、画期的かつ貴重な機会となりました。この他、レトリック研究会、コミュニケーション教育研究会によるパネルがあり、各領域、またその領域を超えて幅と深みのある議論が展開されました。



シンポジウム

基調講演 鈴木謙介先生



懇親会は学内のカフェテリアで開催。最近寄贈されたばかりの「最後の晩餐」の絵画が見守る中、基調講演の鈴木謙介先生にも遅くまでお残りいただき、フレンチレストラン La Tour のお料理を楽しみながら皆様に親交をはかっていただけのように思います。私事になりますが、学生バイトとして参加してくれたゼミ先生が、日中の研究発表の前後に引き続き、懇親会でも何人かの先生を捕まえて質問責めにしていた様子には、驚かされたと同時に大変嬉しく、頼もしく感じました。大会自体の成功とはまた別の意味での学会開催の醍醐味でもありました。

さて、第48回大会は北海道での開催です。大会以外のいろいろなことも楽しみですが、北海道支部の皆様の（特に支部長の？）熱い大会運営を今から楽しみにしております。第47回大会でお世話になりました方々に再度お礼を申し上げ、来年度の大会のさらなる成功をお祈り申し上げ、本大会の報告とさせていただきます。



2016 年度 第 3 回理事会報告

2017 年 6 月 2 日（金）14 時から 2016 年度第 3 回理事会が京都ノートルダム女子大学にて開催された。20 名の理事（委任状 6 名を含む）の出席により理事会は成立した。

【会長挨拶】

明日からの年次大会よろしくお祈いします。会場校の先生方をはじめ大会の準備・運営にご尽力いただきありがとうございます。また、学会運営業務委託業者の移行作業が順調に進んでおりますが、こちらの今後の対応についてもどうぞよろしくお祈いします。

【報告事項】

【1】 第 47 回年次大会

1. 学術局（森泉）

大会運営に対する協力への感謝が述べられた。

2. 会場担当（小山）

会場費と助成金に関する報告と、国際文献社へ事前受付業務を委託したことが報告された。

【2】 各局および担当理事報告

1. 事務局

(1) 入退会者および会費納入報告(高永)

会員の状況（5 月現在）について以下の通り報告があった。また、入退会者の報告と仮登録状態への対応状況の説明が行われた。

① 会員全体数

一般会員 424 名、学生会員 15 名 準会員 1 名 合計 440 名

② 各支部会員数

北海道支部	正会員 25 名	学生会員 1 名
東北支部	正会員 23 名	
関東支部	正会員 167 名	学生会員 3 名 準会員 1 名
中部支部	正会員 49 名	
関西支部	正会員 73 名	学生会員 3 名
中国・四国支部	正会員 22 名	
九州支部	正会員 57 名	学生会員 8 名
海外	正会員 8 名	

(2) 会計報告(松島)

- ・ 2016 年度の決算案が報告された。理事会出席者数の変化にともなう旅費支出の変動や、業務委託移行関連の支出などについて説明があった。
- ・ 2017 年度の前算案が報告された。業務委託先変更に応じた支出の変動や J-Stage 対応費用などの説明があった。

(3)業務委託の進捗状況(高永)

業務委託移行についてこれまでの経緯、委託先の一本化、委託内容と費用などについて総会での説明内容の報告が行われた。また、委託業務内容と見積もりが初年度と次年度に分けて報告された。

2.学術局 (坂井・野中)

(1)ジャーナル関連

以下のジャーナル関連の報告があった。

- ・日本コミュニケーション研究 第45巻 第2号 発行 (2017年3月31日発行)
- ・日本コミュニケーション研究 第46巻 第1号 (2017年11月30日発行予定)。査読結果は条件付掲載可5本 (再投稿論文3本含む) 掲載不可6本となった。査読結果は投稿者に通知済み (2017年4月30日)。
- ・日本コミュニケーション研究 第46巻 第2号 投稿論文募集締め切り (2017年7月31日)
- ・次回再投稿論文受理締め切り日 (2017年7月31日)

(2) J-Stage 関連

以下の J-Stage 関連の報告があった。

- ・『日本コミュニケーション研究』既刊号全て公開済み (42巻～45巻2号)
- ・前身誌2誌 (『ヒューマン・コミュニケーション研究』、『スピーチコミュニケーション教育』) は CiNii から J-Stage へのデータ移行未完了 (連絡待ち)

(3)学会賞関連 (森泉)

- ・年次大会での学会賞授与の方針が報告された。

(4)年次大会関連 (野中)

- ・大会受付業者の変更と今年度の受付業務について報告された。
- ・年次大会プログラムとプロシーディングの合冊化について報告された。
- ・学術講演の謝金と交通費について報告された。

3 広報局 (小山)

(1)ニュースレター115号の発行と116号の予定が報告された。

(2)第47回年次大会の広報を5月中旬に以下の組織に対して行ったことが報告された。

外国語教育メディア学会、映画英語教育学会、異文化間教育学会、国際ビジネスコミュニケーション学会、表象文化論学会、多文化関係学会、SIETAR JAPAN、日本ディベート協会、日本マス・コミュニケーション学会、日本語用論学会

(3)第47回年次大会の広告・展示ブース出展企業について以下の報告がされた。

- ・年次大会プログラム広告協力企業は、プログラム掲載の通りである。
- ・展示企業は6月3日にくろしお出版、ピアソン、6月4日にナカニシヤ書店 (各社1日のみ) であった。

(4)Web 関連

年次大会の広報活動と JCA ニュースレター最新号(115号)の掲載 (5月30日) について報告された。

(5)Web の刷新について

今後予算を考慮しながら協議を続けていく旨が報告された。

【3】各支部報告

各支部より報告がされた。

【4】各理事からの報告

1. 企画担当理事（吉武）

年次大会でのパネルの開催と今後の方向性について報告された。

【審議事項】

【1】第47回年次大会関係

審議事項なし

【2】各局関係

1. 事務局

(1) 今年度の決算における会計年度の期間について

総会での審議内容が決定された。

(2) 学会の会計年度の変更について

総会での審議内容が決定された。

(3) 業務委託について

総会での審議内容が決定された。

(4) 学会支援機構預かりの学会書籍（ジャーナルバックナンバー等）について

過去3年を超えたものを整理する方向性が決まった。保存のためにPDF化するなどの方法が審議された。

(5) 学会支援機構で保存している会計のペラについて

廃棄をお願いすることになった。

2. 学術局

(1) 学会賞関連

(2) J-stage 関連

- ・前身誌2誌のJ-Stageへのデータ移行後のデータ登載作業の委託について

CiNii側の作業の後、委託の検討を続けることになった。

- ・ジャーナルの印刷業者の変更時期について

46巻1号から国際文献社へ移行する方向で作業を進めることが決まった。

(3) プログラム・プロシーディングスのサイズB5版への変更について

経費の節減と持ち運びに便利という理由などから、来年度はB5版へと変更することに決まった。

(4) 学術講演者の謝金について

審議が行われ謝金額の方針が決定した。

(5) 大会グッズ関連の整理・処分について

大会グッズの整理の方針が決まった。

(6) 年次大会発表者の原稿の提出の見直しについて

完成論文提出の見直しについて継続審議となった。

【3】その他

1.次期体制について

次期体制での理事の交代はなく、今期の理事が継続されることになった。

2.第48回年次大会について

北海道での開催となり、札幌市内の会場を予定している。

【4】次回理事会開催日時・会場

12月9日（土）13:00～17:00 関西大学東京センター（丸の内サピアタワー9F）にて開催予定

第46回年次大会 総会報告

日 時：2017年6月3日(土) 14時10分～15時00分

【全体会議】

1. 総合司会の高永茂事務局長より、総会の開始が宣言された。五島幸一会長、中村久美京都ノートルダム女子大学副学長より、歓迎の挨拶が述べられた。
2. 学会賞として、書籍の部、小山哲春先生(京都ノートルダム女子大学)、『認知語用論(認知日本語学講座第5巻)』(小山哲春他)、論文の部、藤巻光浩先生(フェリス学院大学)、『「制度としての美術館」と作品の意味・可視性—森美術館における会田誠回顧展と『ポルノグラフィ—』論争—』が紹介され、五島会長より賞が贈呈された(欠席の藤巻先生には懇親会にてお渡しする旨が報告)。
3. 第46回大会実行委員長、(株)コムスキルの野中昭彦先生に五島会長より感謝状が授与された。
4. 小山哲春実行委員長から、ご挨拶と大会の諸連絡があった。
5. 高永茂事務局長より、出展ブースのお知らせと、会員向け総会を開催する旨が説明された。

【総会】

6. 石橋嘉一先生(青森中央学院大学)が議長に推薦され、拍手で承認された。
7. 石橋嘉一議長により、会則39条では、「会員総数の5分の1以上の出席」が議決の条件であることが確認された。それに基づき、現時点における会員数440名の内、総会出席者42名、委任状70通の合計112名(会員数440÷5=88名)で、総会が成立したことが確認された。また、菅家知洋副事務局長の書記就任が、拍手で承認された。
8. 五島幸一会長より、2017年6月1日より発足した新体制、ならびに役員人事案が発表され、拍手で承認された。
9. 五島幸一会長より、2016年度事業報告として、ジャーナルが年2回発行されたこと、年次大会が京都ノートルダム女子大学にて開催されたことが報告された。2017年度事業計画として、引き続きジャーナルを年2回発行し、第48回年次大会を北海道で開催することが発表された。また、高永茂事務局長より、2016年度の会計処理と会計年度の変更、業務委託先の変更について説明があり、拍手で承認された。
10. 松島綾副事務局長より、2016年度決算報告として、以下の点が示された。
 - 1) 収入の部
 - ・年会費は、440名の会員のうち、正会員342名、学生19名の会費納入があった。
 - ・ジャーナル売り上げは前回より増加した。
 - ・年次大会では、西南学院から12万3千円の助成金をいただいた。
 - ・雑収入の電子図書館サービス関連16万6,415円の収入があった。
 - 2) 支出の部
 - ・年次大会の講師謝礼金5万円と交通費をお支払いした。
 - ・会議費の理事交通費が、理事人数のべ40名分から31名分となり、例年より低額となった。
 - ・公務出張費(予備費)は会長が北海道支部視察をおこなったものである。
 - ・その他の項目で、業務委託交渉のための理事出張費を5名分計上している。
 - 3) 鳥越千絵監事(西南学院大学)と丸山真純幹事(長崎大学)により監査がおこなわれ、適正な会計処理が行われている旨が、書面にて伝えられた。上記の内容が、拍手で承認された。

11. 松島副事務局長より、2017年度予算案として、以下の点が示された。
- 1) 収入の部
 - ・例年通りとなる。
 - 2) 支出の部
 - ・業務委託が国際文献社へ変更となるため特に支出の変化がある。
 - ・ジャーナル発行部数を550部から500部に減らす。
 - ・国際文献社からの見積もりをもとに計上している。
 - ・J-Stage 対応費として、12万1千円を計上している。
 - ・年次大会関係費はプログラムとプロシーディングが合冊され、プロシーディング費のみとなる。また、講師謝金5万円、交通費3万円となる。ポスター作成費を2000部分から1000部分に減らしている。
 - ・事前参加費申し込みシステム費は次年度以降6万円減となる。
 - ・通信費は、会計業務を委託するため半額にしている。
 - ・予備費は、業務委託移行のための出張などが予想されるため40万円計上する。
審議の後、上記の内容が拍手で承認された。
12. 石橋嘉一議長から議事の終了が宣言された。
13. 司会の高永茂事務局長より、新しい事務局の連絡先についての説明があった後、総会終了が宣言された。

学術局報告

2017 年度学会賞報告

学会賞：書籍の部（教科書・啓蒙書）

『認知語用論（認知日本語学講座第5巻）』 くろしお出版

小山哲春・甲田直美・山本雅子著

本書は、タイトルから日本語教育または認知言語学に関連すると思われるが、内容はコミュニケーションに深く関連し、高度な学問的性格であります。語用論を取り扱っている一方で、コミュニケーション参加者に関連する概念や行動について多角的にアプローチしています。動的な語用論的意味の生成プロセスを言語運用者の一般認知能力—特に事態認知と社会認知—を反映したものと捉え、認知言語学を中心とした認知研究の知見を基盤として言語コミュニケーションのメカニズムを探求する「認知語用論」の試みであることが、審査員の間で高く評価されました。

学会賞：論文の部

藤巻光浩 「制度としての美術館」と作品の意味・可視性

—森美術館における会田誠回顧展と「ポルノグラフィ」論争—

『日本コミュニケーション研究』45巻1号 掲載

本論文は、作品の意味をその背景として存在している美術館を前景化することで浮上してくる固有の解釈として提示しており、特に美術館を作品が展示される物理的場所としてではなく、美術史を形成する上で重要な役割をはたしてきた制度・機関（「制度としての美術館」）として位置づけその作品の意味形成過程に着目している点が斬新であり高く評価されました。これにより、美術館という存在が、歴史的コンテキストであり近代制度として作品の持つ意味生成に固有に関わってきたことがわかります。また、美術館が持つ歴史性、行為媒体性や鑑賞者との協働性に目を向け多角的に作品の意味生成過程を提示していることも審査員を魅了しました。

ジャーナル投稿について

5月に『日本コミュニケーション研究』第45巻第2号が無事発行されました。現在は、第46巻第1号の準備が進められ11月末には発行予定となっています。また、第46巻第2号の締め切りが7月末に終了し、9本の論文が投稿されました。こちらは2018年5月末の発行を目指し、査読作業が現在行われています。

今現在は、第47巻1号(2018年11月末発行予定)への投稿論文を募集中です。締め切りは3か月後の2018年11月末日です。是非皆様の研究論文をご投稿ください。投稿方法は、ワード等で作成されたファイルを指定メールアドレスに添付して送付してください。送付の際には、(1)「論文」、(2)「シノプシス」、(3)「ファイル作成に使用した機種を加えた著者情報」、以上3つのファイルを添付してください。執筆・投稿の詳細は、公式ホームページにある「研究論文集投稿規程」・「学会誌執筆要項」を参照してください。

送付の際、ジャーナル専用アドレスに加え、編集委員長のメールアドレスにも「CC:」にて送付してください。メールアドレスは以下の通りです。

To: journal[@をいれる]caj1971.com

CC: jisakai[@をいれる]ed.tokyo-fukushi.ac.jp

上述したメール投稿で受領の返信がない等の不具合、また、ジャーナル投稿に関するその他のお問い合わせは、ジャーナル担当の坂井(jisakai[@をいれる]ed.tokyo-fukushi.ac.jp)までご連絡下さい。迅速に対応いたします。

皆さんもご存じの通り、「コミュニケーション」には様々な意味と捉え方があります。研究内容も多種多様なものがあり、一見雑多な印象を持つ場合もあります。しかし「コミュニケーション」研究の一部である以上、そのすべての研究の間には何らかの「接点」を見出すことは可能でしょう。また、その「接点」を見つけようとする試みの中に「コミュニケーション」の本質の一端があると感じられます。様々な視点と研究内容の間の「接点」が垣間見えるたびに「コミュニケーション」研究の不思議さと新たな可能性を感じます。

皆様の研究は、個々で培ってきた視点と皆様方の研究者としての歩みを何らかの形で反映しています。是非皆様固有の視点と歩みの結晶である研究成果をジャーナル投稿してください。一読者として、またジャーナル担当としても皆様方のご投稿、心よりお待ちしております。

(副学術局長:ジャーナル担当 坂井二郎)

第48回年次大会 発表論文・企画セッション募集

日本コミュニケーション学会は2018年6月9日(土)・10日(日)に、札幌医学技術福祉歯科専門学校にて第48回年次大会の開催を予定しています。来年度のテーマは「コミュニケーションとコミュニティ(仮)」です。このテーマに関連した多数の企画を準備すると同時に、会員の皆様からの研究発表を募集いたします。

また、研究発表だけでなく、会員の相互の研究関心と教育実践の質的な向上を共有する「企画セッション」を募集します。形式は、パネルディスカッション、統一テーマの論文発表、ワークショップなど、自由な発想のもと、90分間のセッションを使って、学会のみならず社会に有効な企画をぜひお寄せください。

応募にあたりプログラムに掲載される要旨と大会プロシーディングス出版用の要旨の2種類をご提出ください。

- ①プログラム掲載用要旨： 和文 800 字以内
英文 300 語以内
- ②プロシーディングス掲載用要旨：和文 3000 字以内(脚注含む)
英文 1000 語以内(脚注含む)

いずれも必ずA4版2枚にすべてを収めてください。なお、パネルなどの企画セッションに応募する場合、パネル全体としてそのセッションの概要を800字(プログラム用)と3000字(プロシーディングス用)の要旨に収めてください。詳しくはJCAホームページのプロシーディングス投稿規定を参照ください。

応募の際は、メールの題目/subjectに「JCA submission:氏名」と必ず明記し、担当理事の野中アンディ宛([andynonaka@\[@を入れる\]commskill.co.jp](mailto:andynonaka@[@を入れる]commskill.co.jp))まで電子メールでお送りください。

応募締め切りは2018年2月20日(火)となりますので、期日には十分ご注意ください。

大会の個人研究発表では第一筆者(及び発表を行う当事者)がJCAの会員であることが規定によって定められています。応募時までにJCAの会員登録をお済ませいただき、氏名の下に会員番号を表記してください。また年会費の未納のため、近年会員資格の資格が発生していますので合わせてご注意ください。

発表申し込みに関しましては学会ホームページ(<http://www.caj1971.com/>)でもご覧いただけます。活気に満ちた大会になるよう、積極的に発表申し込みをいただきたく、ここにお願ひ申し上げます。

Call for Papers for the 48th JCA Annual Convention

The Japan Communication Association is planning to hold its 48th Annual Convention on Saturday, June 9th and Sunday, June 10th, 2018, at Sapporo Medial Technology, Welfare, and Dentistry Professional Training College. The theme of the Convention will be “Communication and Community (tentative).” JCA will be inviting proposals for individual or panel presentations for competitive research papers dealing with any subjects of communication studies.

Additionally, we would like to particularly invite a unique and quality session that contributes to the JCA members and activates our membership activities. The format of this theme session may vary depending on the session’s objectives, such as a thematically organized paper session, a panel symposium, or a workshop. We appreciate your proposal that facilitates research activities and teaching practices as well as encourages information sharing beneficial for the JCA members.

Those wishing to propose a paper presentation or a panel discussion should send an e-mail with a word file of the abstract as an attachment to Andy Nonaka, Deputy Director of Academic Affairs, at [andynonaka@\[\]commskill.co.jp](mailto:andynonaka@[]commskill.co.jp) by Tuesday, February 20th, 2018.

We will publish conference proceedings with abstracts. Two forms of abstracts should be submitted:

- (1) For the convention program: 300 words or less in English or 800 characters or less in Japanese
- (2) For the proceedings: Maximum of 1000 words in English (including foot/endnotes) or 3000 characters in Japanese (including foot/endnotes)

The total volume of abstracts must be limited to 2 pages printed on A4- size paper. Refer to the Submission Guidelines for JCA proceedings, and precisely follow the guidelines. Those who propose a panel or a theme session should submit a session overview of 2 pages maximum; abstracts of individual presenters are unnecessary. Also, at your submission, please specifically type “JCA submission:[name]” on the subject of your mail. The first author of a paper as well as a presenter in the Convention is strictly limited in the JCA members. If these responsible persons don’t have the JCA membership, please join the JCA before submission and indicate the membership number on your paper. We also recommend that you clarify your current status of the membership because it is often lost by not paying the annual fee. Those of you interested in submitting a proposal, please refer to the JCA homepage (<http://www.caj1971.com/>) for the submission requirements. We look forward to seeing you in Hokkaido!

事務局報告

事務局からのご報告とお願い

1. 会費納入のお願い

年会費の振込用紙を8月中旬にお送りしました。未納の方はお早めにお振込みくださいますようお願い申し上げます。

2. 学生会員・準会員登録申請締め切り

大学院生対象の学生会員、学部生対象の準会員としての登録は、7月末日をもって締め切りました。前年度学生会員または準会員であった方で、新たに登録をされなかった方は自動的に一般会員に切り替えますのでご了承ください。なお、すでに今年度の学生会員または準会員の会費を振り込み済みで登録をされなかった方には差額を請求させていただきます。

3. 住所等変更届のお願い

住所や所属が変更になった場合には、速やかに日本コミュニケーション学会事務局（以下「学会事務局」とする）までメール、郵送、ファックスのいずれかの方法でご連絡ください。年会費の振込用紙での変更届けはできませんのでご了承ください。なお、今年度から学会事務局の連絡先が変更になりましたので、届けを出す際には学会のHPでご確認ください。

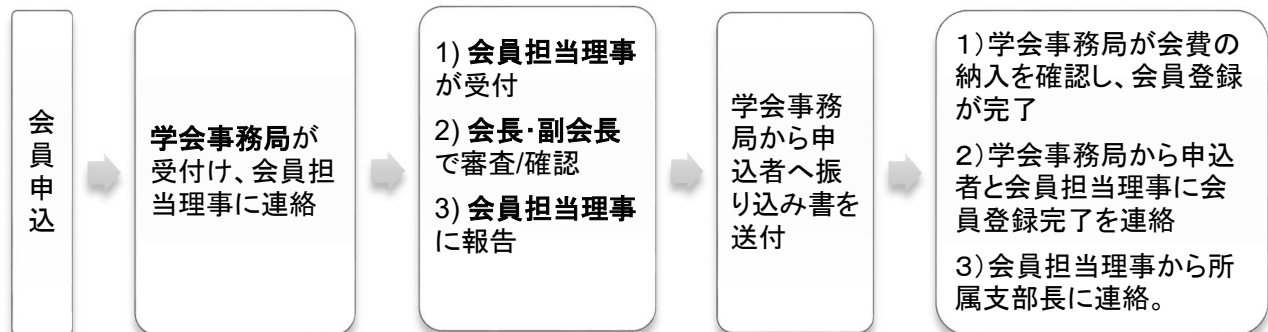
4. ジャーナルバックナンバー、記念図書の購入申込みと閲覧・複写申込み

これまで発行されたジャーナルバックナンバーなど学会発刊物を購入されたい場合は、学会事務局にお問い合わせください。また、科学技術情報発信・流通総合システムJ-STAGE (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/char/ja/>) あるいは国立情報学研究所の論文情報ナビゲータCiNii (<http://ci.nii.ac.jp/>) にも論文が掲載されており、閲覧・印刷することができますので、こちらも是非ご利用ください。同サービスを利用せずに複写をご希望の場合は、学会事務局までお問い合わせください。（住所は●●ページに掲載）

5. 新規会員の手続き

JCAでは、新しい会員を随時受け付けています。次頁のような流れで、新規会員の手続きを行います。ご不明な点がございましたら、学会事務局までご連絡ください。

皆様のご協力をお願い申し上げます。



広報局便り

1. 第47回年次大会の広報局活動

第47回年次大会は、広告、展示とも多くの企業からご協力をいただくことができました。厚く御礼申し上げます。

- ① プログラムの広告：ひつじ書房、ナカニシヤ出版、有斐閣、朝倉書店。
- ② 書籍・教育機材の展示：ナカニシヤ出版、ピアソン・ジャパン、くろしお出版。

広報局では、次年度の大会にむけて、引き続き努力を続けます。皆様も、ご紹介いただける企業がございましたら、ぜひ広報局にご推薦・ご連絡をください。

2. 各支部の年次大会等

支部ニュースに詳しい予定が掲載されておりますので、そちらをご一読ください。

3. 広報局からのお知らせ

- ① 事務局と連携して、HP掲載コンテンツの拡充ならびにレイアウトの見直しを図っていくことを計画しています。
- ② 広報局では他学会の情報や教員公募情報なども積極的にアップしていくことにしております。現在も、いくつかの研究学会の年次大会案内や教員公募などの情報をアップしています。ぜひ、ご活用ください。
- ③ 皆様からも、国内だけでなく、海外の学会を含めて関連する講演会や研究会があれば情報として広報局までご一報下さい。HPにアップロードしたいと思います。
- ④ ホームページ (<http://www.caj1971.com>) は、適宜更新しております。ご意見やご質問を頂ければ幸甚です。

(広報局長 小山 哲春)

JCA ニュースレターへのご寄稿のお願い

日本コミュニケーション学会では、ニュースレターへの会員の皆様のご寄稿を募集しております。以下の要領で奮ってご寄稿ください。

① 著書紹介

会員の皆様の著書を紹介するコーナーです。自薦、他薦を問わず、会員の皆様の著書をご紹介ください。和文で 250～500 字程度の原稿を受け付けております。

② コラム：コミュニケーション教育

コミュニケーション教育に関する実践報告、事例紹介、展望、論考、その他のエッセイを受け付けています。和文で 1000～1500 字程度の原稿を受け付けております。

③ 書評 / 教科書 (テキスト) 紹介

コミュニケーションおよび関連領域の著書に関する書評、および、コミュニケーション関連の教科書 (テキスト) 等の紹介を受け付けております。和文で 1000～1500 字程度の原稿を受け付けております。

④ NL 表紙の写真

ニュースレターの表紙を飾る写真を募集しております。本学会の NL 表紙に相応しい写真がございましたら是非お寄せください。(写真は、会員の皆様ご自身でお撮りになったもの、または著作権をお持ちの写真に限ります。また、写真内容が法令に触れないようご配慮ください。)

支部ニュース

北海道支部

(事務局長 目時 光紀)



2017年6月24日(土)に天使大学で支部総会を開催しました。総会では、2016年度の「活動報告」「決算報告」「監査報告」が行われました。その後、2017年度の「活動計画(案)」と「予算(案)」が了承されました。また、長谷川支部長より本部の会計年度変更に伴って支部の会計年度も変更する旨の提案があり、了承されました。結果、2017年度の会計年度は2017年6月1日～2018年3月末日、2018年度の会計年度は2018年4月1日～2019年3月末日となりました。また、総会では長谷川支部より2018年度の年次大会を予定通り札幌で開催する旨の報告がありました。

総会終了後、通訳案内士で元英国航空客室乗務員の網野真佐子氏をお迎えして「異文化コミュニケーションの現場から—外資系エアライン CA・通訳案内士業務の経験から—」と出した講演会を開催しました。講演会では、事例等も織り交ぜながら「外資系エアラインでの外国人とのコミュニケーション」「通訳案内士としておもてなし」「経験から得た教訓と気づき」についてお話ししていただきました。

一方、2017年7月31日(水)に天使大学で第1回役員会を開催しました。役員会では「2017年度支部大会」「2018年度年次大会(札幌開催)」について協議しました。尚、今年度の役員会の構成員は昨年度に引き続き、長谷川聡、足利俊彦、伊藤明美、水島梨紗、山田晃子、目時光紀となっております。

2017年度の支部大会は2017年11月25日(土)に天使大学で開催する予定となっています。ただいま研究発表を募集中です。応募を希望される方は、演題と要旨をmetoki0702 [@を入れる] gmail.com (担当は目時です)へご送信ください。応募締め切り日は10月16日(月)となっています。

また、2017年度も大学英语教育学会(JACET)北海道支部と北海道英語教育学会(HELES)と合同で支部研究会を2018年3月11日(日)に札幌大谷大学で開催する予定となっています。

東北支部

(支部長 川内 規会)

2017年度「第18回東北支部研究大会」を下記の通り開催いたします。

日時：2017年10月14日(土) 12:30受付
12:50～17:00

場所：青森市男女共同参画プラザ

「アウガ5F研修室」(青森駅から徒歩1分)

テーマ：「健康とコミュニケーション」

研究発表：4件ほど

パネルディスカッション：昨年度に引き続き「健康とコミュニケーション」と題し、パネリストに、青森県立保健大学栄養学科の佐藤伸先生と清水亮先生をお呼びし、東北支部長の川内規会が司会兼パネリストとして、健康観を問い直します。

健康情報の発信者、受信者として、また健康教育の担い手として、どのようなゴールを目指して取り組みがなされているのか。栄養の教育者の立場から、また管理栄養士の立場から、そこに作られた健康観と食生活について、参加者と一緒に考えていきたいと思っております。

参加費：無料

懇親会：17:20 より

申し込み方法：研究発表をご希望の方は「氏名・所属・連絡先・発表タイトル・要旨（200～300字程度）」をメールで [k_kawauchi](mailto:k_kawauchi@auhw.ac.jp) [@を入れる] auhw.ac.jp（川内）までお送りください。また、参加ご希望の方は、「氏名・所属・懇親会参加の有無」をお知らせください。締め切りは 9月25日（月） です。

全国の会員の皆様のご参加をお待ちしております。



（支部長 藤巻 光浩）

支部大会の日程とプログラムが決定したので、ご報告します。社会学者の貴戸理恵先生をお迎えして「ダイバーシティとともに生きる—シティズンシップ教育の探求—」を大会テーマに掲げ開催いたします。また、会員である河合優子先生のご編著の合評会もあります。盛りだくさんの企画がありますので、奮って参加ください。なお、当日は昼食時間が少々短くなっております。下記にあるように、お弁当を注文ください。

日時：2017年12月16日（土）10:40～18:00

場所：愛知淑徳大学星ヶ丘キャンパス 教室（決まり次第、MLやHPなどご案内します。また、当日、正門から分かりやすい案内も付けますのでご安心ください）

タイムスケジュール：

10:40：受付開始

10:55：開会 支部長挨拶

11:00～12:30：「シティズンシップ教育における
コミュニケーション学が果たす役割」

パネリスト：山脇千賀子先生（文教大学）

森泉哲先生（南山大学）

福本明子先生（愛知淑徳大学）

モデレーター：藤巻光浩（フェリス女学院大学）

12:30-13:30：昼食

昼食は、申込制となっております。希望者は、福本明子先生（愛知淑徳大学）へ12月10日までにメールでご連絡ください：[afkmtf](mailto:afkmtf@auhw.ac.jp) [@を入れる] auhw.ac.jp

13:30-15:00：河合優子（編）『交錯する多文化社会～異文化コミュニケーションを捉え直す～』（ナカニシヤ出版）の合評会

指定討論者：松島綾先生（立命館大学）

山脇千賀子先生（文教大学）

応答者：河合優子先生（立教大学）

渡会環先生（愛知県立大学）

司会者：福本明子先生（愛知淑徳大学）

15:30-16:30 基調講演：「ダイバーシティと対話—“生きづらさを活かす”当事者研究の取り組みから—」
講演者：貴戸理恵先生（関西学院大学）

【略歴】

貴戸理恵（きど・りえ） 関西学院大学社会学部 准教授
「生きづらさからの当事者研究会（づら研）」

コーディネーター

小学校の5年半を学校に行かず家で過ごす。

専門は「子ども・若者と社会とのつながり」

「不登校のその後」研究。

著書に『不登校は終わらない』（2004年、新曜社）、

『「コミュニケーション能力がない」と悩むまえに』（2010年、岩波ブックレット）など

司会者：宮崎新先生（名城大学）

16:40-17:30：「生きづらさからコミュニケーションを考える—『づら研』の活動報告をもとに—」

質問者：貴戸理恵先生（関西学院大学）

応答者：野田彩花さん（若者の居場所「なるにわ」、

「づら研」参加者、フリーライター）

著書：『名前のない生きづらさ』

（2017年、子どもの風出版会）

17:30 - 18:00 フロアとの質疑応答

応答者：貴戸理恵先生・野田彩花さん

司会者：宮崎新先生

*懇親会もあります！是非、いらしてください。12月1日までに佐藤良子先生（愛知大学）に連絡を入れてください。：[otasyf](mailto:otasyf@vega.aichi-u.ac.jp) [@を入れる] vega.aichi-u.ac.jp



関西支部

(支部長 守崎 誠一)

2017年6月に京都ノートルダム女子大学で開催されました第47回年次大会では、多くの会員みなさんに関西においていただき、大会を盛会に終えることができました。参加者ならびに開催をお手伝いいただきました多くの方々に感謝申し上げます。

関西支部では、2017年11月18日(土)に関西支部秋季研究会を開催いたします。場所は、関西大学梅田キャンパス(705号室)で、時間は14時から17時を予定しております。学術講演者として、京都大学文学部准教授の川島隆先生をお招きする予定となっております。

個人研究発表の募集など、その他の詳細については、適宜支部のホームページ等で周知をおこないますので、多くの会員の方々の参加を希望いたします。



中国・四国支部

(支部長 脇 忠幸)

中国四国支部では、第20回支部大会を下記の通り開催いたします。

日時：2017年12月3日(日) 13:00 開始予定

場所：福山大学 宮路茂記念館(福山駅北口出ですぐ)

全体テーマ：コミュニケーション学と教育

参加費：無料

発表者の募集も随時受け付けております。中国四国支部のメンバーに限らず、全国の会員の皆様に申し込んでいただきたいと思います。

申し込み締め切り：2017年10月23日(月)

必要事項：メールに題目と和文または英文の要約を添付し、件名「JCAcs17」で送ってください。

申し込み先：[reinelt.rudolf.my\[at\]ehime-u.ac.jp](mailto:reinelt.rudolf.my[at]ehime-u.ac.jp)

今大会の基調講演は、野中昭彦先生(株式会社コムスキル代表取締役、元・中村学園大学)に「社会人向けコミュニケーション教育が気づかせてくれること」というテーマでご講演いただきます。

なお、今大会における詳しい案内を含むJCA 中国四国支部ニュースレターを後日発行予定です。また、今回も広島コミュニケーション研究会との共催になる予定です。過去の支部大会の発表資料は、Rudolf Reinelt先生のホームページ(<http://web.iec.chime-u.ac.jp/reinelt/JCAcs2016Comp/JCAcs2016PresentationsVolumeAndNL41N.html>)に掲載されています。ぜひご覧ください。



九州支部

(支部長 池田 理知子)

九州支部では、第24回支部大会を9月23日(土)に長崎市の純心女子高等学校江角記念館で開催いたします。大会テーマは「記憶の継承—コミュニケーション学の視点から—」です。10本の研究発表と2つのパネルディスカッションが行われます。またメインのイベントとして、大会テーマと同じタイトルのパネルディスカッションを3人のゲストをお招きして行います。詳細はホームページのプログラムをご覧ください。

支部紀要『九州コミュニケーション研究』(第14号)に関しては、9月末の発行に向けて作業を進めているところです。投稿論文と前回大会でのシンポジウムを含めた特別企画が掲載される予定です。

日本コミュニケーション学会 2017年度 役員一覧

(2017年6月1日～2018年5月31日)

会長	五島 幸一	愛知淑徳大学
副会長 (総務担当)	青沼 智	津田塾大学
副会長 (学術担当)	守崎 誠一	関西大学
事務局長	高永 茂	広島大学
副事務局長	菅家 知洋	東海大学
副事務局長	松島 綾	立命館大学
学術局長	高井 次郎	名古屋大学
副学術局長 (ジャーナル担当)	坂井 二郎	東京福祉大学
副学術局長 (年次大会等担当)	野中 昭彦	中村学園大学
副学術局長 (年次大会等担当)	森泉 哲	南山大学
広報局長	小山 哲春	京都ノートルダム女子大学
副広報局長 (ニューズレター担当)	田島 慎朗	神田外語大学
副広報局長 (ホームページ担当)	今井 達也	南山大学
理事 (企画担当)	吉武 正樹	福岡教育大学
理事 (海外渉外担当)	宮原 哲	西南学院大学
理事 (北海道支部長)	長谷川 聡	北海道医療大学
理事 (東北支部長)	川内 規会	青森県立保健大学
理事 (関東支部長)	小西 卓三	昭和女子大学
理事 (中部支部長)	藤巻 光浩	フェリス学院大学
理事 (関西支部長)	守崎 誠一	関西大学
理事 (中国・四国支部長)	脇 忠幸	福山大学
理事 (九州支部長)	池田 理知子	国際基督教大学
監事	鳥越 千絵	西南学院大学
監事	丸山 真純	長崎大学

学会連絡先

〒162-0801

東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

日本コミュニケーション学会事務局

FAX : 03-3368-2822

jcom-post[@を入れる]bunken.co.jp

NL の電子版への完全移行のお知らせと メールアドレス登録のお願い

日本コミュニケーション学会 広報局

日本コミュニケーション学会ニュースレターは永きにわたり紙媒体でお届けして参りましたが、107号より電子版に完全移行いたしました。当面はPDF版をHPに掲載する予定ですが、将来的には学会全体のメーリングリストを構築してのメールマガジンの配信も視野に入れ、さらに検討を続けていきます。つきましては、会員の皆様には、本学会HP（学会支援機構データベース）にてメールアドレスの登録をお願い申し上げます（下記の方法をご覧ください。）今後、NLの配信を含めた学会の広報活動を効率化し、会員の皆様とより情報価の高いコミュニケーションを取れますよう、ご協力をお願いいたします。

- ① 本学会 HP (<http://www.caj1971.com>) にアクセス
- ② 左側メニュー「会員各種手続き (Membership)」をクリック
- ③ ページ中頃の「各種変更手続き」の下「1 オンラインで Web 登録情報確認・変更、会費残高照会のページ」をクリック
- ④ 会員番号とパスワードを利用してログインし、メールアドレスを登録（変更）して下さい。

* ご登録いただきましたメールアドレスは、学会（学生支援機構）が責任を持って管理し、学会からのお知らせの配信（および、これに係るメーリングリストの構築）以外の目的では使用しません。

- 会員番号は、学会からの郵送物の宛名ラベルの中に印字されています（10桁の番号）
- パスワードをお忘れの場合には、上記④の画面で、「パスワードの問い合わせ」をクリックして手続きを行って下さい。

編集後記

ニュースレター116号をここに発刊いたします。事務局長の高永先生が巻頭言で述べておられますように、今回から事務局が新しくなりました。会員の皆様方は、問い合わせの際にご留意いただければと思います。

また、2018年度の第48回年次大会に関する情報は、明らかになり次第このニュースレターを改訂するかたちでお知らせしたいと存じます。しばしお待ちくださいませ。

広報局 ニュースレター担当 田島慎朗